

心理学専攻 修士論文ルーブリック

評価項目		A	B	C	D
① 先行研究を踏まえ、かつ十分に理解している	研究の背景	研究テーマに沿った先行研究の選択が的確であり、引用や参照の仕方も過不足なく、研究知見や課題について適切なレビューが行われている。	先行研究の選択が概ね妥当であり、引用や参照の仕方、研究知見や課題についてのレビューが、概ね適切である。	先行研究の選択、引用や参照の仕方、研究知見や課題のレビューに改善すべき点がある。	先行研究を示そうとしているものの、引用や参照の仕方、研究知見や課題のレビューが不適切であり、出典が明らかでない引用も見られる。
	研究方法及び手続き	研究方法及び手続きに関する先行研究の選択が的確であり、引用や参照の仕方も過不足なく適切である。	先行研究の選択が概ね妥当であり、引用や参照の仕方が概ね適切である。	先行研究の選択、引用や参照の仕方に改善すべき点がある。	先行研究を示そうとしているものの、引用や参照の仕方が不適切であり、出典が明らかでない引用も見られる。
	研究結果の考察	結果の解釈の裏づけとしての確かな先行研究を選択しており、引用や参照の仕方も過不足なく適切である。	結果の解釈の裏づけとして概ね妥当な先行研究を選択しており、引用や参照の仕方も概ね適切である。	結果の解釈の裏づけとしての先行研究の選択、引用や参照の仕方に改善すべき点がある。	結果の解釈の裏づけとして先行研究を示そうとしているものの、引用や参照の仕方が不適切であり、出典が明らかでない引用も見られる。
② 論文として適切な形式を備えている	研究の背景と目的	背景となる先行研究に関するレビューに基づいて、妥当な研究の目的又は仮説が導かれている。	背景となる先行研究に関するレビューに基づいて、概ね妥当な研究の目的又は仮説が導かれている。	先行研究上の課題と当該研究の目的又は仮説とのつながりに関する記述に不十分な点がやや目立つ。	先行研究上の課題と当該研究の目的又は仮説とのつながりに関する記述が不十分である。
	研究方法の適切性	対象者の選定、測度や刺激等の選択又は作成、データ取得手続きが適切に行われている。	対象者の選定、測度や刺激等の選択又は作成、データ取得手続きが概ね適切に行われている。	対象者の選定、測度や刺激等の選択又は作成、データ取得手続きの客観性又は合理性に不十分な点がやや目立つ。	対象者の選定、測度や刺激等の選択又は作成、データ取得手続きに客観性又は合理性に欠ける。
	研究方法の追試可能性	当該研究で用いられた方法を読めば、追試できるように詳細に記述されている。	当該研究で用いられた方法を読めば、概ね追試できるように記述されている。	当該研究で用いられた方法を読んでも、追試できない部分が散見される。	当該研究で用いられた方法を読んでも、全体的に追試困難な記述となっている。
	研究結果の分析	研究目的又は仮説を検証するために適切な統計的検定やデータの整理方法を用いて、データの分析が行われている。	研究目的又は仮説を検証するために概ね適切な統計的検定やデータの整理方法を用いて、データの分析が行われている。	研究目的又は仮説を検証するためのデータの分析に、改善すべき点がやや目立つ。	研究目的又は仮説を検証するためのデータの分析が不十分である。
	研究結果の提示	データの分析結果に基づいて、適切な統計値やわかりやすい図表が提示されている。	データの分析結果に基づいて、概ね適切な統計値やわかりやすい図表が提示されている。	統計値や図表の提示に改善すべき点がやや目立つ。	統計値や図表の提示が不十分である。
	研究結果の考察	研究の目的又は仮説に基づいて、得られた結果をもれなく考察し、適切に結論が導かれている。	研究の目的又は仮説に基づいて、得られた結果を考察し、概ね適切な結論が導かれている。	研究の目的又は仮説に基づいて、得られた結果を考察しているものの、不十分な点がやや目立つ。	研究の目的又は仮説に基づいた結果の考察が不十分である。
	研究の課題と展望	先行研究を踏まえて他の解釈可能性に言及し、研究の課題と展望が明確に述べられている。	先行研究の参照は十分ではないものの、他の解釈可能性に言及し、研究の課題と展望が概ね明確に述べられている。	研究の課題と展望についての言及に不十分な点がやや目立つ。	研究の課題と展望についての言及が不十分である。
	引用文献リスト	指定書式によって、適切に作成されている。	指定書式によって、概ね適切に作成されている。	改善すべき点がやや目立つ。	全体的に体裁が整っていない。
③ 独創性が認められる	着眼点や方法論等における独創性	従来の研究と比較して、当該研究の着眼点や方法論等が、高い独創性を有すると認められる。	従来の研究に類似するものがないわけではなく、当該研究の着眼点や方法論等が、一定の独創性を有すると認められる。	独創的とはいえないが、有意義な知見や発見を提供すると認められる。	同様のテーマの先行研究をつなぎ合わせたような内容で、独創性が認められない。

④ 論点が明確であり、論述が論理的である	基本的な記述	誤字や脱字、文法上の誤りがなく、端的で読みやすい文章で記述されている。	誤字や脱字、文法上の誤りが少なく、概ね端的で読みやすい文章で記述されている。	誤字や脱字、主語と述語が対応していないなどの文法上の誤りが散見され、文章がやや冗長である。	誤字や脱字、主語と述語が対応していないなどの文法上の誤り、冗長な文章が目立ち、推敲が不十分である。
	客観的な表現	客観的な表現で記述されている。	概ね客観的な表現で記述されている。	主観的で根拠に乏しい記述が散見される。	主観的で根拠に乏しい記述が多い。
	論展開の過程	適切に章立てが行われており、結論に至るまでの過程がわかりやすい。	章立てが行われており、結論に至るまでの過程が概ねわかりやすい。	章立てが行われているものの、結論に至るまでの過程が不明瞭である。	結論に至るまでの過程をたどることができない。
	論旨の一貫性	全体として論旨が一貫しており、論理に飛躍がない。	一部で論理の飛躍がみられるものの、全体として概ね論旨が一貫している。	論理の飛躍及び論旨の逸脱がやや目立つ。	論理の飛躍が多く、論旨の一貫性に乏しい。
⑤ 学際的あるいは国際的関心が示されている	学際性： 知見の実用 又は応用可能性等	当該研究によって期待されるあるいは得られた知見の実用可能性（臨床的意義等）又は応用可能性（他の研究への発展性等）について、論理的に述べられている。	当該研究によって期待されるあるいは得られた知見の実用可能性（臨床的意義等）又は応用可能性（他の研究への発展性等）について、一定の関心が述べられている。	当該研究によって期待されるあるいは得られた知見の実用可能性（臨床的意義等）又は応用可能性（他の研究への発展性等）について、やや視野が狭く発展性への言及に不十分な点がある。	当該研究によって期待されるあるいは得られた知見の実用可能性（臨床的意義等）又は応用可能性（他の研究への発展性等）について、独断的な言及に終始し、客観的な発展性が認められない。
	国際性： 国内外の研究動向への関心	国内外の研究動向（研究知見）を踏まえながら、過不足なく論が展開されている。	国内外の研究動向（研究知見）を概ね踏まえながら、論が展開されている。	国内外の研究動向（研究知見）への関心にやや偏りがある。	国内の研究動向への関心に偏っており、海外の研究動向等への関心が希薄である。
⑥「広島修道大学における研究者の行動規範」を遵守している。		遵守していると認められる。			遵守しているとは認められない。